

日本箱庭療法学会会員のみなさま

日本ユング心理学会登録会員・聴講生・候補生のみなさま

震災以来、まだまだ復旧・復興の道筋は不透明で、ご不安な日々をお過ごしの方も多いことかと存じます。被災地のニーズに応じた心の支援活動のあるべき姿を私どもなりに描くべく、第2回日本箱庭療法学会・日本ユング心理学会合同震災対策ワーキンググループ（以下、WG）が、7月17日に開催されましたので、以下にご報告申し上げます。

1. 新委員の就任について

日本箱庭療法学会震災対策担当指名理事の渡部純夫氏が、新たにWG委員に就任しました。

2. 現地での活動について

① 仙台市・石巻市（河合委員長，田中委員，宇田川委員，畑中事務局員）

現在までに4回（4/27~28，5/18~19，6/30，7/13~14），仙台市・石巻市を訪問しました。

➤ 情報交換会の開催

4月と7月の2度、現地の学会員と情報交換会を行い、それぞれの震災体験、その後の心理支援者としての取り組み、またその中で出てきた問題について話し合われました。

➤ 教育関係機関の訪問（宮城県教育庁義務教育課，仙台市教育局学校教育相談課，石巻市教育委員会）

➤ 小中学校の訪問（石巻市万石浦中学校，渡波小学校，門脇小学校）

各機関において現状と要望等をうかがい、今後の支援のあり方について検討しました。

② 仙台市七郷地区（川原委員）

5/30~6/1，仙台市七郷中学校，七郷小学校，ならびに地域の避難所を訪問しました。

③ 福島県（角野副委員長，岸委員，渡部委員）

6/19，福島県相馬市を訪問し，海岸部の現状を視察しました。

委員が継続して訪問すること自体が、支援のプロセスを生み出していることが実感され、今後も長期的に活動を続けていくことの大切さが感じられました。また、福島県は、放射能の影響という状況を考慮した上での支援のあり方を考えていく必要があると思われました。

3. 2011年度第1回日本箱庭療法学会研修会における震災対策への取り組みについて

2011年7月17日，2011年度第1回日本箱庭療法学会研修会が開催され，2つの分科会において，震災対策に特化した研修がなされました。

➤ 河合委員長の分科会：高島光恵氏により，兵庫県の台風・四川地震・東日本大震災後の宮城県のあ る町での支援活動について報告されました。

➤ 角野副委員長の分科会：酒井律子氏により，阪神大震災後のB市教育委員会が取り組んだラーニン グ・ステイについて報告されました。

各分科会ともに，被災地に入ったSCやボランティアから活発な意見が寄せられ，意義深いディスカッションがなされました。

4. SC 派遣事業について

A 小学校との話し合いを進めるなか、定期的、かつ継続的な SC 派遣の要望があり、文科省による県外からの応援 SC 派遣のコーディネーターとも協議の末、行政の枠組みからは独立した形で、本 WG から A 小学校へ SC の直接派遣を行うことになりました。すでに学校への訪問や市教委への挨拶も済ませ、夏休み明けから本格的に SC として活動する予定です。

5. 基金について

- 会員のみなさまから支援金として、¥470,000-のご寄付をいただきました。
- IAAP(国際分析心理学会)の基金から、¥383,356-を受理いたしました。
- 今後も継続して、以下の通り、会員の皆様からの支援金を受け付けております。詳細は、別途ホームページに記載しておりますので、ご確認ください。支援活動へのご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

【一口】5000 円（一口から募金が可能です。一口以上、何口でも。）

三井住友銀行 京都支店（496） 普通 8776954

口座名：箱庭ユング震災対策ワーキンググループ

※通信欄に「支援金」と明記ください。

※誠に申し訳ありませんが、振り込み手数料は各自ご負担ください。

6. 国際的な連携・発信について

IAAP のホームページには、基金設立のレターと、河合委員長によるレポートが掲載されています。今後もこの基金を通じて寄付金が集められるとともに、随時支援活動の報告を行っていきます。

7. 今後の取り組みについて

第 2 回 WG では、上記の現地での活動や各委員から提供された報告を基に、今後の支援の方向性について具体的に検討がなされました。

- WG 委員による現地の活動の継続
- 日本箱庭療法学会全国研修会における震災対策への取り組みの継続
今後も、全体会や分科会において、震災支援に関わる研修を継続して行います。
- 現地での研修会の開催
臨床心理士、教育関係者、医療関係者など、被災地で子どもの心のケアする方たちのサポートを目的に、10 月に福島県、ならびに宮城県石巻市において研修会の開催を予定しています。子どもの心のケアに関する講演会と、事例検討を中心とした分科会を予定しています。詳細については決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。
- SC の直接派遣
A 小学校への SC 派遣に加え、被災地の学校の現実的な状況や要望を把握した上で、他地域へも SC の直接派遣を行っていく予定です。

河合俊雄（合同震災対策 WG 委員長、日本箱庭療法学会常任理事、日本ユング心理学会副会長）